



慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港 400 周年記念行事に寄せて

仙台市長 奥山 恵美子



慶長遣欧使節団キューバ共和国ハバナ寄港 400 周年を記念し、仙台育英学園において盛大に式典が催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

仙台藩主伊達政宗公の命を受け、太平洋を渡った支倉常長ら使節団がキューバに到着して 400 年。幾多もの困難に遭遇しながらも未知の世界へと進んでいった使節団の偉業は、今日の日本の国際社会の礎を築き、同時に日本とキューバ両国間の友好交流の先駆けとなる大きな役割も果たしました。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から 3 年以上が経過いたしました。この間、昨年 6 月には、仙台市博物館が所蔵する 3 点の資料がユネスコ記憶遺産に登録されました。支倉常長ら使節団の旅路に改めて思いを馳せてみると、私たち仙台市民に震災から立ち上がる勇気を与え、復興を後押しするとともに、未来の仙台市を担う若い世代の皆様、チャレンジ精神や国際的視野を持つことの大切さを示してくれている、そんな思いがいたします。今回の 400 周年記念行事が在校生の皆様にとって、先人たちの志に触れ、力強く未来を拓き、ご活躍される契機となりますことを心より期待しております。

最後に、これまで両国間の友好親善の発展に寄与されてきましたキューバ共和国大使館の皆様をはじめ、長年にわたり仙台とキューバの交流にご尽力いただきました仙台キューバ交流協会の皆様、仙台育英学園の皆様にご心からの敬意を表しますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。